

# オペレーションズ・リサーチ誌 総目次

第32巻 1987年

## 〔特集〕

		号	頁
<b>線形計画法の最近の発展</b> ..... 1月号 (4~33ページ)			
小島政和	特集に当って	1	4
福田公明	有向マトロイドと線形計画	1	5
藤重悟	線形計画問題の強多項式解法について	1	14
刀根薫	随筆・LPメリーゴーラウンド	1	19
小島政和	対称な双対問題のペア上でのカーマーカー法	1	24
今井浩	線形計画問題に対する乗法的罰金関数法について	1	29
<b>雪</b> ..... 2月号 (60~98ページ)			
新村秀一	特集に当って	2	60
青山清道	積雪災害の現状と問題点	2	61
松田寿夫	「北のまちづくり」への提案	2	66
広畑民雄	札幌市の総合雪対策について	2	73
石川明彦	岩手の雪	2	83
中峠哲朗	雪害問題とオペレーションズ・リサーチ	2	88
森雅夫	「北越雪譜」	2	104
<b>問題解決法としてのOR</b> ..... 3月号 (116~166ページ)			
松田武彦	特集に当って	3	116
小田部齊	組織としての問題意識統一——関係者の合意へのOR的方法のすすめ	3	118
川瀬武志	問題構造化のプロセス	3	124
山田善靖	モデルとモデリング	3	132
井上一郎	モデルと組織の整合——技術的妥当性と組織的妥当性	3	136
太田敏澄	役割規定——心理的な詰めのうまみ	3	142
高井英造	ORと「組織の革新」を考える	3	147
松田武彦	誌上シンポジウム「問題解決法としてのOR」		
	I. 基調講演 OR実施の循環過程モデル	3	153
山田善靖(司会), 他	II. 討論	3	157
<b>板取り</b> ..... 4月号 (183~216ページ)			
徳山博子	特集に当って	4	183
椋原一好, 他	厚板シャーリング業における板取りについて	4	184
甲斐良隆, 加藤直樹	樹脂建材生産における板取り	4	191
沢田晃二	最適板取り自動計算システム	4	198
横田金典, 黒田啓之	造船における板取り	4	206
指田矩男	パーソナルウェアにおけるマーキングの適正化	4	212
<b>シミュレーション</b> ..... 5月号 (232~268ページ)			
森戸晋	特集に当って	5	222
逆瀬川浩孝	シミュレーションで何がわかるのか	5	233
黒田充	汎用生産システム・シミュレータについて	5	239

梯 一雄, 億 進一	コークス製造システム評価のためのシミュレーションモデル	5	245
森戸 晋, 矢崎義行	シミュレーション利用状況調査とシミュレーション言語に関する最近の話題	5	250
<b>ORの図解</b> ..... 6月号 (300~403ページ)			
柳 井 浩	特集に当って	6	295
福 川 忠 昭	線形計画法から多目的・多目標計画法へ	6	300
鈴 木 久 敏	双対問題とは?	6	309
柳 井 浩	線形計画法における Vajda の図解と双対定理	6	316
中 村 善太郎	損益分岐点分析と感度分析	6	321
千 住 鎮 雄	図による投資計画	6	326
豊 田 吉 顕	プロジェクト選択と有効勾配法	6	329
今 野 浩	整数計画法——代数的解法の図解	6	335
武 藤 滋 夫	ゲーム理論	6	338
千 住 鎮 雄	工場用地獲得のための入札	6	345
森 村 英 典	M/M型待ち行列の平均待ち時間	6	348
高 橋 幸 雄	マルコフ連鎖	6	350
森 村 英 典	在庫管理における最適発注量	6	353
福 島 雅 夫	Gradient と Subgradient	6	356
小 島 政 和	Kuhn-Tucker の最適性条件	6	360
矢 部 博	共役勾配法	6	363
伏 見 正 則	合同法乱数	6	368
岸 尚	Lanchester の法則	6	370
小 林 龍 一	ロジスティック曲線	6	372
川 嶋 弘 尚	交通流	6	374
高 橋 幸 雄	移動しながら交通量を推定する方法	6	377
田 口 東	Königsberg 7つの橋の問題	6	379
古 林 隆	最短路問題	6	381
古 林 隆	最大流問題	6	384
伊理正夫, 鈴木敦夫	Voronoi 図と Steiner 木	6	387
森 雅 夫	待ち行列と在庫——流体近似	6	391
若 山 邦 紘	累積分布関数の図的利用	6	393
牧 野 都 治	パレート図とABC分析	6	396
岩 本 誠 一	動的計画の図解	6	399
<b>交 通</b> ..... 7月号 (410~455ページ)			
矢 部 真	特集に当って	7	410
忍 田 和 良	消費者主導の物流新時代	7	413
斉 木 勝 彦	宅急便概要	7	420
北 野 嘉 幸	東京圏における高速鉄道を中心とする 交通網の整備に関する基本計画について	7	426
上 田 亀之助	総合交通システムとインターフェース	7	431
八戸英夫, 矢部 真	旅行計画立案システム (TPSS) について	7	436
田 中 壽	実用化へ近づく浮上式鉄道	7	444
丹 澤 章 浩	東京ディズニー・ランドの建設とレジャー産業の本質	7	449
<b>本四架橋</b> ..... 8月号 (506~550ページ)			
成 久 洋 之	特集に当って	8	506
中 林 三 平	本四架橋の社会経済におよぼす影響	8	507
滝 田 清	交通量からみた本州四国連絡橋	8	512

吉田 巖	瀬戸大橋架橋の技術的意義	8	518
信朝 寛	瀬戸大橋架橋に伴う効果について	8	524
林 昭 児	本四架橋により四国が活性化するための条件	8	536
藤原 祥一	広域高速交通網のおよぼす効果	8	545

**AIの推論とOR**..... 9月号 (582~618ページ)

末田 直道	特集に当って	9	582
増位 庄一	知識処理のための推論高速化技法	9	584
廣田 薫	ファジィ推論	9	591
山口 高平, 他	定性的推論とその応用	9	598
寺野隆雄, 須原靖志	仮説的な推論——TMS, ATMSとその応用	9	606
本位田真一, 他	時制論理とペトリネット	9	612

**北海道開発のOR**..... 10月号 (646~688ページ)

鳩山 由紀夫	特集に当って	10	646
山崎 一彦	北海道開発の歴史的選択	10	647
佐藤 泰久	農業地域社会の活性化——農業地域における産業コンプレックスの形成	10	655
田村 修二	技術連関分析による産業集積	10	661
中山 道夫	エネルギー産業から見た北海道の活性化	10	667
中山 大二郎	工業化時代の北海道経済と第3次産業	10	674
松原 望	北方領土問題に対する基本的視角——交渉理論より	10	681

**スケジューリング**..... 11月号 (708~749ページ)

矢部 博	特集に当って	11	708
細井 敏弘	JR鉄道における列車ダイヤのスケジューリングとシステム化	11	709
関 孝義	バスダイヤ自動編成システム	11	717
松本 信二, 他	エキスパートシステムによる建築作業のスケジューリング	11	722
小谷 重徳	かんぱん方式の数理	11	730
宮崎茂次, 太田 宏	ジャストインタイム・スケジューリング	11	739
山本 正明	生産工場でのスケジューリング問題	11	744

**金融**..... 12月号 (772~799ページ)

山田 善靖	特集に当って	12	772
水野正義, 他	市場性取引の増加とその対応	12	773
杉岡 直人	アセット・ライアビリティ・マネジメントの手法とシステム設計	12	783
浦谷 規	オプションとポートフォリオ・インシュアランス ——安全性を考えた新しい投資方法——	12	788
山腰 直人	資金運用へのAIの応用	12	794

**[トップの視点]**

中 沖 豊 (富山県知事)	雪に強い, いきいき郷土の創造	2	58
小 林 郁 (松下電工 幹)	執念・熱意・OR	3	114
宮 岡 公 夫 (日本郵船 幹)	海運業とOR	4	182
横 山 保 (国立高岡短期大学)	大学教育とコンピュータ	5	230
小 倉 昌 男 (ヤマト運輸 幹)	運輸業の経営論	7	408
山 根 孟 (本州四国連絡橋公団)	本州四国連絡架橋事業の現況とその特質	8	504
本 多 波 雄 (豊橋技術科学大学)	地域と大学	9	580
横 路 孝 弘 (北海道知事)	世界の交差点をめざして	10	644
巽 敬 吾 (幹東洋情報システム)	「ORとの出会い」そして「今」	11	706
神 谷 健 一 (幹三井銀行)	銀行経営の変化とORについて	12	770

## 〔解説〕

大 山 達 雄	選挙区議員定数問題の数理	5	269
---------	--------------	---	-----

## 〔実例紹介〕

木 下 雄 三	N T T株投資で成功したはなし	5	281
---------	------------------	---	-----

## 〔事例研究〕

中野 一夫, 他	パソコン版ダンブトラック運行シミュレータの開発と走路区間のモデル化	5	259
前田 博, 村上周太	北九州市における太陽エネルギー利用に関するシステム分析	7	456
大 山 達 雄	選挙区事例から議員定数配分方法の比較分析	8	551
木 下 栄 蔵	野球における打者・投手の評価	10	689

## 〔総合報告〕

根 本 忠 明	コンピュータによる経営革新の枠組み	9	619
木瀬 洋, 塩山忠義	確率スケジューリング問題について	11	750

## 〔連載〕

中 村 善 太 郎	会計計算の図解 (1)	1	34
中 村 善 太 郎	会計計算の図解 (2)	2	99
中 村 善 太 郎	会計計算の図解 (3)	3	167
刀 根 薫	企業体の効率性分析手法—D E A入門 (1)	12	800

## 〔学生論文賞受賞論文要約〕

原 聡	T S Pにおける近似解法の実際的评价のみなおし	1	44
山 川 栄 樹	必ずしも微分可能でない合成関数の最小化問題に対する 信頼領域法のアルゴリズムについて	1	47

## 〔事例研究奨励賞ソフトウェア部門賞作品〕

大 柳 俊 夫	パソコン用L Pソフト「LP-Calculator」	12	804
辻 新六, 他	パソコンによるアンケート調査支援システム「QUEST PACK Ver.2」	12	810

## 〔書評〕

青 木 兼 一	『大規模システム—モデリング・制御・意思決定—』	2	108
八 卷 直 一	『ソフトウェアの品質管理』	4	218
川 野 幸 三 郎	『都市防災計画論』	4	219
島 田 俊 郎	『SLAMIIによるシステム・シミュレーション入門』	5	290
加 藤 直 樹	『グラフ・ネットワーク・マトロイド』	5	291
倉 谷 好 郎	『社会工学概論—21世紀への問題提起』上・下	7	495
権 藤 元	『イラストで見る瀬戸大橋』	8	572
飯 島 淳 一	『純粹人工知能批判』	9	628
牧 野 都 治	『グラフィック意思決定法』	10	702
前 田 英 次 郎	『線形計画法』	11	766
坂 和 正 敏	『経営の多目的計画』	12	817

## 〔文献紹介〕

飯 島 淳 一	「Artificial Intelligence—An Overview of Similarities with O.R.」	9	628
日 下 泰 夫	「Lessons for O.R. from A.I. : A Scheduling Case Study」	11	758

## 〔研究室だより〕

京都大学 工学部 数理工学科		1	50
----------------	--	---	----

愛知工業大学 経営工学科	1	51
城西大学	2	106
大阪商業大学	2	107
鉄鋼短期大学	3	178
滋賀大学 経済学部 管理科学科	3	178
琉球大学 工学部 電子・情報工学科	4	224
東和大学 工学部 経営工学科	4	225
一橋大学 商学部	4	225
日本文理大学 工学部 経営工学科	5	287
広島工業大学 経営工学科	5	288
千葉経済短期大学 商経科 経営情報専攻	7	492
独協大学 経済学部 経営学科 情報科学部門	7	493
海上保安大学校	8	562
福島大学 経済学部	8	563
東京商船大学 商船学部 運送工学科	9	632
南山大学 経営学部 情報管理学科	9	633
追手門学院大学 経済学部 経営学科	10	698
北九州大学 商学部	10	699
北海学園北見大学 商学部	11	760
桃山学院大学	11	761
九州東海大学 工学部 情報システム工学科	12	814
流通経済大学 経済学部 経営学科	12	815

## 〔ニュース等〕

新しい表紙について	1	28
編集委員会より	1	39
1986年度秋季研究発表会および第17回シンポジウムルポ	1	40
日本学術会議だより No. 3	1	52
日本学術会議だより No. 4	4	222
朴在夏博士来日	5	238
日本学術会議だより No. 5	6	404
昭和62年度通常総会	7	463
JORSJ 編集委員会からのお知らせ	7	483
昭和62年度日本OR学会賞	7	484
新フェローの紹介	7	490
昭和62年度支部総会報告 九州支部	8	573
中国・四国支部	8	574
関西支部	8	576
中部支部	9	634
東北支部	9	636
北海道支部	9	637
春季研究発表会・シンポジウム・ルポ	8	565
日本学術会議だより No. 6	10	700
FMES シンポジウム・ルポ	11	762
上海システム・ダイナミックス国際会議報告	11	729
OR企業サロン報告	12	813
IFORS ルポ	12	820

第5回日本OR学会学生論文賞

12 816

〔その他〕

吉山博吉  
吉山博吉  
近藤次郎

会長挨拶  
祝辞  
学会創立30周年に寄せて

1 2  
6 298  
6 299

〔研究部会報告〕

1 54 2 111 3 173 4 220 5 292  
7 498 8 578 9 639 10 703 11 767 12 818

〔ミニミニOR〕

2 72, 80, 82, 87, 96, 98, 109, 110 3 123 4 226  
5 258, 280, 286 7 496, 497 8 570

〔会員近況〕

1 55 2 111 4 227 5 292 7 500 9 641 10 703 12 823

〔会合記録・入退会〕

1 55 2 112 3 179 4 228 5 293 6 406  
7 501 8 577 9 641 10 704 11 768 12 824